



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月12日

上場取引所 東大

上場会社名 エスフーズ株式会社
コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

(氏名) 村上 真之助
(氏名) 安岡 信幸
配当支払開始予定日

TEL 0798-43-1065
平成22年10月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	62,819	6.3	2,037	△30.6	2,182	△27.8	1,041	△15.0
22年2月期第2四半期	59,069	—	2,934	—	3,020	—	1,225	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年2月期第2四半期	37.20	—
22年2月期第2四半期	39.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年2月期第2四半期	59,684	33,297	50.4	1,074.80
22年2月期	56,609	32,965	52.5	1,060.21

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 30,105百万円 22年2月期 29,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年2月期	—	11.00	—	11.00	22.00
23年2月期	—	12.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	125,000	5.0	4,500	△19.7	4,700	△18.2	2,300	△17.7	82.11

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期2Q 32,267,721株 22年2月期 32,267,721株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 4,257,418株 22年2月期 4,257,245株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期2Q 28,010,367株 22年2月期2Q 30,774,791株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、景気の回復基調を支えてきた輸出関連が円高の進行により伸び悩み、また、国内の消費者物価指数が10数ヶ月連続で前年同月を下回るなど、依然としてデフレ経済の出口が見えない状況が続きました。当食肉業界におきましても、消費者の買い控えや低価格志向が持続する厳しい経営環境に変わりはありませんでした。

このような状況において、当社グループは、引き続き堅実な経営体質の構築を目指して企業活動を推し進め、また消費者の皆さまに安心して召し上がっていただける食品を安定的にお届けすべく、地道に事業活動を行って参りました。

食肉の[卸売事業]においては、新規得意先の獲得や既存得意先の深耕による積極的な販売施策を展開いたしました。更に、豚肉の販売シェア拡大にも努めました。[製品事業]においては、「こてっちゃん」ブランド充実策として「こてっちゃん牛もつ炒め」をリニューアルすると共に、消費者キャンペーンを実施いたしました。[小売・外食事業]においては、店舗のスクラップアンドビルドとコスト削減、また外食店の食べ放題メニューの追加など採算性の維持改善及び競合激化への対抗策を展開いたしました。しかしながら、3事業全体としては、消費の低迷と販売価格の下落により、採算性の維持が困難な状況で推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高628億1千9百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益20億3千7百万円（前年同期比30.6%減）、経常利益21億8千2百万円（前年同期比27.8%減）、四半期純利益10億4千1百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

事業別の売上高は、[卸売事業]が359億8千2百万円（前年同期比18.5%増）、[製品事業]が150億8千9百万円（前年同期比5.3%減）、[小売・外食事業]が115億9千8百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は、「日本」は売上高618億1千3百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益19億8千8百万円（前年同四半期比25.7%減）、また、「アメリカ合衆国」は売上高16億3千4百万円（前年同四半期比17.0%減）、営業利益6千8百万円（前年同期比73.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて30億7千4百万円増加し、596億8千4百万円となりました。これは主に、季節変動に伴い売上債権、たな卸資産が増加したこと及び新たな東京営業所の建設により、有形固定資産が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて27億4千2百万円増加し、263億8千6百万円となりました。これは主に、季節変動に伴い仕入債務が増加したこと及び借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3億3千2百万円増加し、332億9千7百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少2億7千万円に対し、利益剰余金の増加7億3千3百万円が上回ったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億7千8百万円減少し、109億3千2百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは6千万円の収入（前第2四半期連結累計期間は21億7千7百万円の収入）で、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益19億9千5百万円、減価償却費5億8千8百万円、仕入債務の増加14億6千7百万円であります。一方、主な減少要因は売上債権の増加21億7千2百万円、たな卸資産の増加9億5千6百万円、法人税等の支払額12億5百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは14億4千7百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は25億8千2百万円の支出）で、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出6億6千9百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3億2千5百万円及び事業譲受による支出2億9千4百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは9億1千1百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は21億8百万円の収入）で、収入の主なものは短期借入金の純増額7億6千7百万円及び長期借入れによる収入10億3千3百万円であります。一方、支出の主なものは長期借入金の返済による支出3億4千万円及び配当金の支払額3億7百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度後半におきましても、景気回復は期待しがたく、食肉業界においても引き続き低価格志向が続くものと予想されます。この環境下において、当社グループは、更なるコストダウンとグループ企業間の協力関係の促進により、収益性の向上に努めて参ります。また、本年9月に当社最大級の処理能力を持つ新たな東京営業所（関東ミートセンター）を開設しており、首都圏での販売力強化に取り組んで参ります。

通期の見通しについては、本年10月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しました通りであり、売上高1,250億円（前年同期比5.0%増）、営業利益45億円（前年同期比19.7%減）、経常利益47億円（前年同期比18.2%減）、当期純利益23億円（前年同期比17.7%減）を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に一括表示しておりました「賞与引当金戻入額」（前第2四半期連結累計期間4,190千円）は、金額的な重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記しております。

前第2四半期連結会計期間において、特別利益の「その他」に一括表示しておりました「賞与引当金戻入額」（前第2四半期連結会計期間3,578千円）は、金額的な重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より区分掲記しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に一括表示しておりました「賞与引当金の増減額（△は減少）」（前第2四半期連結累計期間16,858千円）は、重要性及び明瞭性を勘案し、当第2四半期連結累計期間より区分掲記しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,597,286	12,926,947
受取手形及び売掛金	13,563,381	11,437,020
有価証券	101,430	—
商品及び製品	5,885,052	4,919,343
仕掛品	1,422,612	1,349,010
原材料及び貯蔵品	610,737	563,240
その他	1,096,363	1,203,712
貸倒引当金	△161,130	△155,972
流動資産合計	35,115,732	32,243,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,652,403	12,860,496
減価償却累計額	△7,522,888	△7,427,244
建物及び構築物（純額）	6,129,514	5,433,252
土地	7,671,813	7,350,302
その他	10,820,891	10,618,881
減価償却累計額	△8,448,212	△8,265,110
その他（純額）	2,372,678	2,353,770
減損損失累計額	△609,381	△631,319
有形固定資産合計	15,564,624	14,506,006
無形固定資産		
のれん	724,410	956,724
その他	161,768	154,736
無形固定資産合計	886,178	1,111,460
投資その他の資産		
投資有価証券	4,714,299	5,216,669
その他	3,608,628	3,767,231
貸倒引当金	△205,179	△234,724
投資その他の資産合計	8,117,748	8,749,176
固定資産合計	24,568,551	24,366,643
資産合計	59,684,284	56,609,945

（単位：千円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,892,658	7,437,380
短期借入金	3,990,000	3,223,000
未払法人税等	982,554	1,210,467
賞与引当金	587,532	580,049
その他	3,872,545	3,211,945
流動負債合計	18,325,290	15,662,843
固定負債		
社債	900,000	1,050,000
長期借入金	4,953,103	4,431,893
退職給付引当金	618,090	570,302
役員退職慰労引当金	145,041	349,457
その他	1,445,263	1,580,081
固定負債合計	8,061,499	7,981,734
負債合計	26,386,789	23,644,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298,354	4,298,354
資本剰余金	11,952,554	11,952,550
利益剰余金	18,377,191	17,643,316
自己株式	△2,984,328	△2,984,190
株主資本合計	31,643,772	30,910,030
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,210,065	△939,841
繰延ヘッジ損益	△20,518	△12,797
為替換算調整勘定	△307,821	△260,367
評価・換算差額等合計	△1,538,405	△1,213,006
少数株主持分	3,192,128	3,268,343
純資産合計	33,297,495	32,965,367
負債純資産合計	59,684,284	56,609,945

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	59,069,738	62,819,990
売上原価	47,388,585	51,862,516
売上総利益	11,681,153	10,957,474
販売費及び一般管理費	8,746,818	8,919,910
営業利益	2,934,334	2,037,563
営業外収益		
受取利息	9,072	9,128
受取配当金	42,886	43,644
持分法による投資利益	4,130	—
負ののれん償却額	24,302	28,048
その他	144,208	170,387
営業外収益合計	224,599	251,209
営業外費用		
支払利息	44,617	54,148
その他	93,470	52,203
営業外費用合計	138,087	106,352
経常利益	3,020,846	2,182,420
特別利益		
貸倒引当金戻入額	32,582	13,906
関係会社株式売却益	—	9,425
賞与引当金戻入額	—	12,074
その他	25,160	3,006
特別利益合計	57,742	38,411
特別損失		
固定資産処分損	37,507	51,315
減損損失	422,549	33,053
投資有価証券売却損	3,515	15,590
投資有価証券評価損	—	74,221
店舗閉鎖損失	22,338	29,058
その他	7,046	22,432
特別損失合計	492,958	225,671
税金等調整前四半期純利益	2,585,630	1,995,160
法人税等	1,243,401	931,089
少数株主利益	116,595	22,080
四半期純利益	1,225,633	1,041,990

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	29,999,585	31,843,711
売上原価	24,244,614	26,482,693
売上総利益	5,754,971	5,361,017
販売費及び一般管理費	4,415,665	4,448,649
営業利益	1,339,306	912,368
営業外収益		
受取利息	4,658	4,287
受取配当金	39,165	42,345
持分法による投資利益	25,395	—
負ののれん償却額	14,397	14,024
その他	59,798	78,976
営業外収益合計	143,415	139,633
営業外費用		
支払利息	26,642	28,153
自己株式取得費用	17,631	—
社債発行費償却	21,087	—
その他	14,425	26,489
営業外費用合計	79,785	54,642
経常利益	1,402,935	997,359
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14,276	4,602
賞与引当金戻入額	—	11,716
その他	16,391	576
特別利益合計	30,668	16,895
特別損失		
固定資産処分損	24,913	39,620
減損損失	422,549	8,075
投資有価証券売却損	3,515	—
投資有価証券評価損	△10,773	74,221
その他	9,707	33,253
特別損失合計	449,912	155,170
税金等調整前四半期純利益	983,690	859,084
法人税等	429,295	407,979
少数株主利益又は少数株主損失(△)	39,634	△49,779
四半期純利益	514,760	500,884

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,585,630	1,995,160
減価償却費	561,206	588,321
減損損失	422,549	33,053
のれん償却額	317,352	232,336
負ののれん償却額	△24,302	△28,048
賞与引当金の増減額（△は減少）	—	10,656
退職給付引当金の増減額（△は減少）	5,154	48,649
受取利息及び受取配当金	△51,958	△52,773
売上債権の増減額（△は増加）	1,258	△2,172,946
たな卸資産の増減額（△は増加）	△392,434	△956,741
仕入債務の増減額（△は減少）	355,969	1,467,110
その他	△84,711	106,247
小計	3,695,713	1,271,025
利息及び配当金の受取額	48,880	52,230
利息の支払額	△34,361	△57,312
法人税等の支払額	△1,532,966	△1,205,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,177,265	60,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,814,777	△669,357
無形固定資産の取得による支出	△7,294	△35,151
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△325,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	296,239	—
事業譲受による支出	—	△294,957
短期貸付けによる支出	△600,000	△50,000
その他	△456,432	△72,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,582,263	△1,447,180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△185,620	767,000
長期借入れによる収入	4,404,900	1,033,000
長期借入金の返済による支出	△171,778	△340,801
社債の発行による収入	1,500,000	—
自己株式の取得による支出	△2,942,424	△303
配当金の支払額	△353,357	△307,355
少数株主への配当金の支払額	△65,687	△64,637
その他	△77,614	△175,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,108,417	911,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,670	△3,571
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,721,090	△478,202
現金及び現金同等物の期首残高	8,590,939	11,410,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,312,030	10,932,652

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成21年6月1日至平成21年8月31日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）並びに前第2四半期連結累計期間（自平成21年3月1日至平成21年8月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年3月1日至平成22年8月31日）

当社企業グループは主として肉製品及び生肉加工品の製造、販売ならびに生肉の販売という区分に属する事業を行っており、また、市場及び販売方法等についても類似しております。

また、その他の事業については金額が少額のため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成21年6月1日至平成21年8月31日）

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	29,206,018	793,567	29,999,585	—	29,999,585
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9,823	243,266	253,090	(253,090)	—
計	29,215,841	1,036,833	30,252,675	(253,090)	29,999,585
営業利益	1,195,674	136,048	1,331,723	7,583	1,339,306

当第2四半期連結会計期間（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,377,626	466,084	—	31,843,711	—	31,843,711
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	410,529	—	410,529	(410,529)	—
計	31,377,626	876,614	—	32,254,241	(410,529)	31,843,711
営業利益及び営業損失(△)	912,504	13,013	△1,331	924,186	(11,818)	912,368

(注) その他の区分に属する主な国又は地域は韓国であります。

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (千円)	アメリカ合衆国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	57,507,318	1,562,420	59,069,738	—	59,069,738
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,543	406,359	421,902	(421,902)	—
計	57,522,861	1,968,779	59,491,641	(421,902)	59,069,738
営業利益	2,677,767	254,692	2,932,459	1,874	2,934,334

(注) 会計処理基準に関する事項の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」の「2 会計処理基準に関する事項の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から評価基準については、原価法または低価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が46,955千円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (千円)	アメリカ 合衆国(千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	61,807,779	1,012,210	—	62,819,990	—	62,819,990
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,970	622,116	—	628,087	(628,087)	—
計	61,813,750	1,634,327	—	63,448,077	(628,087)	62,819,990
営業利益及び営業損失(△)	1,988,316	68,779	△1,331	2,055,763	(18,200)	2,037,563

(注) その他の区分に属する主な国又は地域は韓国であります。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)並びに前第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。